

東海地方名古屋支部

赤木 敬

1 日目は、鈴木龍一副執行委員長よりメンタルヘルス問題について講義を受けました。長時間労働や、劣悪な環境により離職者問題は人手不足の港湾にとって重要な問題であり、改善を会社側に求めるのはもちろん、組合役員として組合員たちの意見を聞く場をつくり、コミュニケーションを欠かさないことが大切であると感じました。

2 日目は鈴木誠一中央執行委員長と畠山昌悦副実行委員長より全国港湾の成り立ち、港湾運送事業法と港湾労働法の成り立ちの講義を受けました。今自分たちの置かれてる環境がどういった経緯で作られ、どのような役割を持っているかという内容を深く掘り下げることで今ある環境を守る必要性、活用していく必要性を学びました。しかし、自分の勉強不足で講義の内容について理解しきることが難しい箇所がたくさんあり、今後とも学び続けなければならないと感じました。

3 日目は橋崎正伸副執行委員長より詫間港運闘争についての講義を受けました。実際に起きた問題とそれに対する対応を時系列順に聞くことで、より実務的な組合の役割について学ぶことができました。過去に起きた事例を当事者の方から聞くことで闘争の注意点や危険性について鮮明に想像し、学ぶことができました。

今回、労働講座に参加させて頂き講座にて重要な話を聞いたことはもちろん、他支部の役員の方たちとコミュニケーションを取り交流できた経験は今後の組合活動にとって大きな価値があると思います。こういった機会はできるだけ多くの仲間達に経験してもらいたいと感じておりますので、自分の地域でも今後の労働講座への参加を呼びかけていきたいと思っております。

貴重な経験をさせて頂きまして感謝しております、ありがとうございました。